

犬吠に育つ

〈 日々成長・日々感動・日々充実 〉



新年度のスタートにあたって

4月7日の着任式では、6名の職員の紹介をし、一人一人から生徒に挨拶をいたしました。その後の始業式では、教職員・生徒共に新たな希望を抱きながら式に臨み、清々しい気持ちで令和7年度がスタートしました。

本年度は、新入生が0名で、全校生徒26名となりますが、昨年度に引き続き、工夫と着実な取組を図りながら、教職員が一丸となって教育活動を進めて参ります。学校・家庭・地域が共に協力し合いながら、生徒のよりよい成長につなげていきたいと思ひます。

【転出職員】

- (豊里小へ) ☐
- (銚子中へ) ☐
- (銚子西中へ) ☐
- (銚子中へ) ☐
- (銚子中へ) ☐
- (千葉山王中へ) ☐
- SC
- 業務員(退職)

【転入職員】

- (銚子中より)
- (銚一中より)
- (新規採用)
- (銚子西中より)
- SC
- 業務員

令和7年度 教職員の紹介

校長
教頭
教務

2学年主任
1組担任
副担任

3学年主任
総合学級2担任
1組担任
総合学級1担任
副担任

養護教諭
副主査
カウンセラー
音楽科講師
美術科講師
家庭科講師
業務員
ALT
SSS
図書館司書
初任者指導

1年間よろしく
願ひします

数 学
数 学

英 語
英 語
社会・技術

社 会

理 科
国 語
保 体

音 楽
美 術
家 庭

地震発生から高台への避難訓練を実施

地震後、大津波警報が発令されたことを想定して、年度初めの4月8日(火)に避難訓練を実施しました。

- ① 自分の身を守る1次避難(机の下に入り頭部を守る)
- ② 火事や倒壊の危険性から逃れる外への2次避難
- ③ 地震発生後の津波から身を守る3次避難

地震発生から最終避難場所の愛宕山ふれあい広場までの移動を想定し、教員と全校生徒が避難しました。

生徒の振り返りからは、「訓練の大切さや状況を考えて臨機応変な行動」、「海面からの高さの想定」等、これまでに以上に意識をした感想が聞かれました。

「自分の身は自分で守ること」や「普段からの危険回避能力の向上」を意識し、取り組んでいくことが大切と考えます。【今回も、約12分で高台への避難が完了】



始業式でのお話(4/7) 校長より

2,3年生の皆さん、進級おめでとうございます。まずは春休み、事故やけがもなく無事に過ごし、一緒に令和7年度のスタートを迎えられたことをうれしく思ひます。

さて、いろいろなことを考えたり、思ったりしながら、今日の日を迎えていることと思ひますが、今日は少し大人の話をしましょう。

それは、今年度のスタートにあたり、「様々な先入観を捨ててみてはどうか」というお話です。

これまでの付き合いの中で、A君はこんな人、Bさんはあんな人、そして自分はこんな人、という想いや考えをそれぞれがもっていると思ひます。しかし、それが新しいスタートにとっては邪魔になったり妨げになったりすることが、意外と多いのです。皆さんがどれだけ先入観というものに支配されているか、簡単なテストがあります。

今から1つ行ってみようと思ひます。これからの話をしっかり聞いてイメージしてください。

「ドクター・スミスは、アメリカのコロラド州立病院に勤務する腕利きの外科医。仕事では、常に冷静沈着、大胆かつ慎重で、州知事にまで信望が厚い。

ドクター・スミスが夜勤をしていたある日、緊急外来の電話が鳴った。交通事故のけが人を搬出するので執刀してほしいという。父親が息子と一緒にドライブ中に、ハンドル操作を誤り谷へ転落、車は大破、子どもが重体だと救急隊員は告げた。20分後、重体の子どもが病院に運び込まれてきた。その顔を見てドクター・スミスはアッと驚き、茫然自失となった。その子は、ドクター・スミスの息子だったのだ」

さて、皆さんは、この話を聞いて何かおかしいと思ひませんか？この話は成り立たないと思ひませんか？

そうです。「なぜ、お父さんが2人いるのか？」と感じた人が多いのではないのでしょうか。

実は、皆さんの中に「外科医のお医者さんは男性が多い」という先入観があるかどうかをテストしたのです。

女性のお医者さんは、たまにテレビドラマになりますが、未だに限られた存在かもしれません。そうした社会的な状況が、皆さんの考えや見方を狭めてしまっているとしたらどうでしょうか。先入観にとらわれることは、固定観念を強め、新しい見方や考え方を遠ざけてしまうことにもつながります。

皆さんが、新しく自分を高めよう、変えようと考えているこの4月に、是非、様々な先入観を1度捨てて、「透き通った視点」で友達やクラスを見直してみると、新しい発見がたくさん見つかるかもしれません。

新たな発見が、お互いの理解に深くつながり、よりよい関係のもと、過ごしていけることを願ひ、新学期のお話を終わりにします。